

ゴーヘッドス 速報

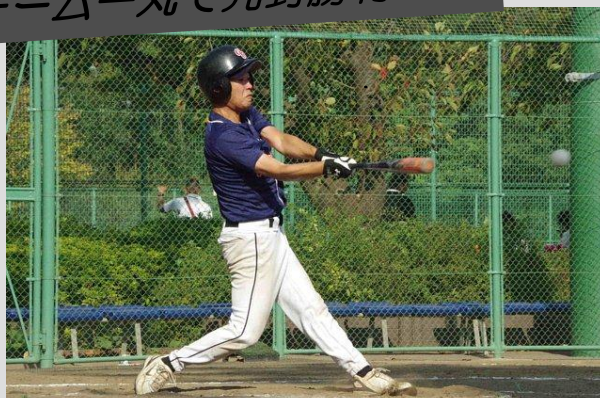
Goaheads

第26号 平成27年10月24日

投げて・打って・守って・走って!!

チーム一丸で完封勝利!

	1	2	3	4	5	6	7		R
J	0	0	0	0	0	0	0		0
G	3	1	0	0	1	3	×		8



今期の公式戦を全て終えた今日のゲームは、ローテーションの谷間であった。そんな中、繋ぎとしてマウンドに上がったのが深沢、実は今期1勝を挙げていたのだ。しかし、なんちゃってには変わらないので、ゲームを壊さない事だけを意識し、ゲームに望んだ。その入り、初球をレフトオーバーの2ベースで出塁、二番には粘られ四球を与え、無死一・二塁。野手は恐らくどうなるんだ?と思ったに違いない。3番の時に二塁走者が三盗を試みるも、今日マスクを被った祐太郎の送球で、走塁が躊躇する。これを今日サードに入った秀がタッチアウトとし、一死一塁。その後は二打者を凡打に斬り、初回を0点発進とした。その裏の攻撃、先頭の祐介が中前安打で出塁、2番智の時のWPで二塁に進塁、そして、智が、きっちり犠打を決め祐介は三塁、更にその打球処理を焦った野手が送球エラーでこの間に祐介は生還、智も塁上に残る。三番哲也は四球、四番祐太郎は死球で無死満塁。絶好のチャンスであったが、5番・6番が連続三振、しかし7番秀が四球を選択し押し出して2点目、更には、投手の牽制エラーでサードより、哲也が生還し3点目。が、後続が倒れ初回は3点止まり。さー、援護をもらった深沢の2回、ここは、打者三人に13球できっちり抑えた。その裏、一死後1番祐介が安打でまたもや出塁。その後盗塁とWPで一死三塁とした。ここで、智がきっちり叩き、祐介が生還し、4点目を挙げた。3回の深沢も三社凡退、4回には安打で出塁も許すも、その後を許さず。しかし、5回にはこの日1番のピンチを迎えた。二死を淡々と取った後、代打左打者の打球が投手・一塁・二塁の三角地帯に。セオリーは、投手が一塁ベースカバーだが、さすがにわか。ベースカバーを忘れ、内野安打とした。そして、次打者には、今日二個目の四球で、二死一・二塁とした。が、なんちゃってのめっきは、ここもはがれなかった。次打者を右飛に斬り、今日一番のピンチをまたもや0点とした。そして、その裏、野手の失策、死球に長短打で2点を追加後、山林にも適時打が飛び出し。今日の勝利をぐっと引き寄せた。そして、最終回のマウンドにも深沢が上がる。あっさり二死としたが、次打者にレフトオーバーの2ベースを打たれ出塁を許した。そして、ここでハブニングが。攻守を見せていた祐介の足が悲鳴を上げた。若干の介抱の結果、何とか立ち上がる。しかし、次打者は左打者、絶対に流させないという思いで、投げ、結果二ゴロ、ここも一塁のベースカバーを忘れた投手だが、4-3と送球され、深沢は、守備のおかげで初の完封勝利を収めた。今日は、チーム一丸が物凄く感じたゲームであった。投手が打ち取った?(打者が打ち損じたという方が正解?)打球を野手が確実にアウトにする。という意気込み・希薄が、守備において非常に締まっていると感じた。走者に於いても、常に次への走塁。そして打撃は強振することなく、つなぐ打撃も今日の勝利の要因であろう。今期も数えるだけになってきたシーズンなので、やり残しが無いよう、残りの試合も今日のように頑張ろう・・・